教育研究業績書

2025年05月07日

所属： 看護学科　　資格： 教授　　氏名： 金谷　志子

研究分野	研究内容のキーワード
地域看護学、公衆衛生看護学	高齢者保健　介護予防　コミュニティ・エンパワメント
学位	最終学歴
看護学（博士）	大阪府立看護大学大学院看護学研究科後期博士課程看護学専攻

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1.地域高齢者のフレイルを目的とした住民主導型地域活動への関心の向上とフレイル予防に関する健康教育の体験学習	2020年9月～2021年3月	本学看護学研究科看護学研究専門教育科目（広域実践看護学特論E）で、地域住民に対する健康教育の企画・実施・評価のプロセスを体験。健康教育のテーマについて、対象者のニーズをインタビューや事業見学を行い把握し、健康教育の指導案、教育媒体を作成。高齢者の介護予防事業にて4回シリーズで健康教育の実施と評価を体験する演習を実施。
2.大学院生の研究指導	2020年4月～現在	本学看護学研究科において、2020年度は博士後期課程大学院生2名の副指導、修士課程大学院生5名の主指導、5名の副指導を、1名の論文審査の副査を担った。2021年度は博士後期課程大学院生1名の副指導、修士課程大学院生7名の主指導、6名の副指導を担っている。
3.保健師の保健指導のスキルを習得するためのグループワーク・ロールプレイング	2020年4月～現在	本学看護学研究科専門教育科目（公衆衛生看護学Ⅰ）で、住民への保健指導の展開方法の学習場面で実施。教材として①認知機能の低下のある独居高齢者、②難病療養者の家族の事例を作成。学生は家庭訪問・電話相談時の情報収集や面接技術について、保健指導計画をグループでディスカッションし、作成。グループで対象者・家族・保健師の三者になりロールプレイングを行い、保健指導計画のプレゼンテーションを行う演習を実施。
4.地域の健康課題の理解を高めるためのProblem-based Learningを用いた実習	2020年4月～現在	本学看護学研究科専門教育科目（公衆衛生看護学実習Ⅰ・公衆衛生看護学実習Ⅱ）で、兵庫県内の都市部と山間部の市を対象地域とし、地域住民の健康課題を抽出し、地区視診やインタビュー、二次資料の分析等からの情報収集の結果を活用し、健康課題解決方法をグループで創造する学習を実施。設定テーマについてグループで学生がディスカッションし、地域の健康課題と課題解決方法をプレゼンテーションする実習を実施。教育準備としてフィールドワークの対象地域の設定や学生主体のインタビュー調査が実施できるようインタビュー対象者を選定。
5.在宅療養者・家族介護者の教育スキルを習得するためのグループワーク・ロールプレイング	2016年9月～2019年3月	大阪市立大学医学部看護学科 専門教育科目（在宅看護学演習）で、在宅療養者・家族介護者への教育の学習場面で実施。教材として①誤嚥性肺炎、②関節拘縮、③低栄養、④褥瘡のリスクをもつ事例を作成。学生は看護課題の解決のための患者・家族を対象とした教育指導計画（教育媒体の作成含む）をグループでディスカッションし、作成。グループで患者・家族・看護者の三者になりロールプレイングを行い、教育指導計画のプレゼンテーションを行う演習を実施。
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
3 学術論文				
その他				
１．学会ゲストスピーカー				
２．学会発表				
３．総説				
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
６．研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等	
年月日	事項